



Fグループ会報

No.17
フェリス女学院短期大学
音楽科
Fグループ

短期大学音楽科から 四年制音楽学部へ



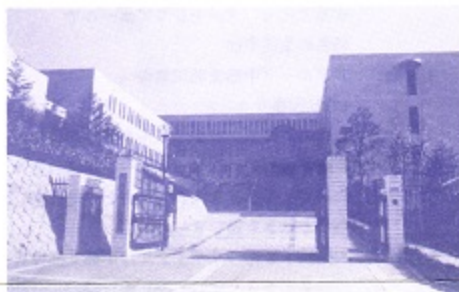
短期大学学長 佐藤 馨

フェリス女学院における音楽の高等教育は、いま1947(昭和22)年の専門学校(旧制)、1951(昭和26)年の短期大学音楽科の設立以来の、大きな発展と充実のときを迎えようとしています。1989(昭和64)年4月開設を目指すフェリス女学院大学音楽学部は、声楽学科・器楽学科・楽理学科の3学科よりなり、これまで全国でもトップ・クラスと評価されてきた短期大学音楽科の教育を一層充実させ、さらに高度な専門教育を行い、また、キリスト教音楽(プロテスタント)の研究と演奏の、ひとつの中心となろうとするものです。

現在、1987年の第一次審査にパスして、第二次申請書(二年間におたる審査がある)を文部省に提出し、審議会の審査がなされており、この計画が承認されれば、短期大学音楽科は1988年に学生募集を停止し、四年制の新学部が充足することになります。



音楽学部に必要な最新設備の校舎もすでに落成し、いま山手地区に演奏ホール(450名収容)を建設中で、1989年3月に落成の予定です。演奏の良否はしばしば演奏ホールによって左右されます。われわれは、細心な設計と緻密な音響の配慮、入念な施工によって、この演奏ホールがすぐれた音楽をつくりだすのに相応しい場所になることを信じています。

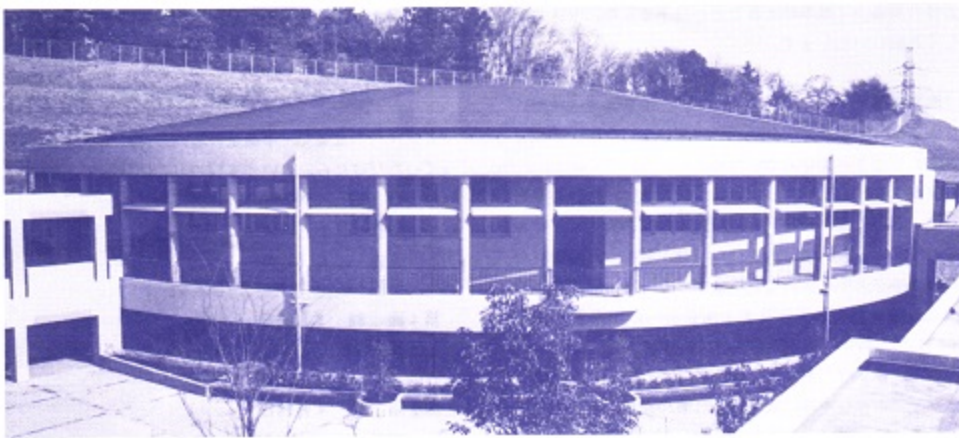


一緑山キャンパスにて一

長井朋子(33回)

今日はフェリス女学院大学の新しい緑園キャンパスに御案内いたします。相鉄線の二俣川からいずみ野行に乗り、トンネルを越えたところが緑園都市駅です。二俣川から二駅目、五分位です。この駅は見晴しがよく、なんと展望台がついています。ここからフェリスの校舎が、特に礼拝堂がよく見えます。とても静かで、のどかな感じがします。さあ駅を出しましょう。エスカレーターを降り改札を出て右(東口)に行き、だんだんと坂を上り約四分程でもう校門です。山手のあの急坂に慣れた足にはとても楽です。今日は礼拝堂と音楽棟に御案内いたします。まず校門から見て左手の三角屋根の礼拝堂へどうぞ。十字架の下にはカリヨンチャイムが取り付けられています。3つの組鐘が毎日礼拝の始まりと終わりを告げてくれます。御安心下さい。私がひもを引っ張るのではなく、ROMに書きこまれたデータを読み出して自動演奏してくれるのです。さあ中へどうぞ。フェリス女学院で今のところ唯一の礼拝堂です。全部で200席あります。打ち放しのコンクリートと明るい木材を組み合わせた、現代的でシンプルな礼拝堂です。ここでは毎日12時20分から20分間礼拝がまわられています。出席する学生の数は平均すると50人位でしょうか。とてもよく響く建物なので話しはやや聞きとりにくいこともありますが、讃美歌はとても美しく響きます。アーレンのADC221というオルガンが入っています。自己紹介が遅れましたが、私は宗教委員会の副手としてこちらで宗教活動の事務と礼拝の奏楽、聖歌隊のお手伝い等をさせていただいています。

さあそれでは5号館(音楽・実験棟)に参りましょう。階段を上った階が1階(これがちょっとややこしいのです)。ここには542教室位の教室が2つあります。そのうちの1つはスタジオとしても使える(調整室がついている)教室です。そしてその上の2階には4つのレッスン室と7つの練習室と小さな控室があります。いずれの部屋も反響はほとんどなさそうですが防音は完璧のようになっています。2重ガラスの間でブラインドが上下するようになっているのがおもしろいです。廊下、練習室には非常叫出ボタンがついています。叫んでも聞こえませんが、それからもう1つ、廊下のレッスン室の入口の脇に、明るい木のベンチがあります。学生さんがもじもじとレッスンを待つ姿が今から目に浮かびます。この5号館は2号館(講義棟)につながっており、ラウンジ、食堂、大講義室、図書館、事務室等にも雨にぬれないで行くことができます。今、敷地の奥に運動場を造っています。裏山にはまだ林が残っていてそこから鳥や虫の鳴き声が聞こえ、夏でも涼しい風がきます。どうぞ一度いらして下さい。それでは実り豊かな秋を迎えることができますように。



大学実現に同窓会の団結を

大庭 照子(10回)

フェリスの音楽教育は日本一だと高校(九州女学院)の音楽の先生にいわれて、大きな夢と大きな荷物を持って、ふるさとの熊本を離れたのは昭和三十三年の二月だった。あつという間の三十年間だった様な気がするし、とても長かった様な気がする。ただ年齢を重ねることに矢張りフェリスで教育を受けた事を心から良かったと思う気持ちが大きくなっていく。三十年間の間に日本も考えられない程の発展をとげた。発展とともに日本の本来の良さがうすれた事もあるが、フェリスの音楽教育の原点はかわっていないと私は信じている。最近、私は名古屋、福岡でリサイクルを開いた。その二ヶ所でフェリスの同窓の方々にはあたたかく応援して下さい。そして異口同音にフェリスで学べた喜びをおたがいに確認しあった。でもこの喜びがただ単に思い出としてだけのものにしてはいけないと思った。これから学ぼうとしている若い人々に私達は自信を持って伝えるべきではないだろうか。

五月の同窓会で創立当時の急務であった大学問題がいよいよ実現しそうだと言葉があった。私は学校からの説明を聞きながら、今こそ卒業生は音楽科の理想であった大学の実現のために協力すべきではないかと心から思った。そしてこれを機にフェリスの伝統をふりかえり、これからの時代にふさわしい大学建設のために団結すべき時ではないかとも思った。学校側が今、一番卒業生の力を期待されているのは、寄付金である事も説明があった。私はこの寄付の問題は大いに検討すべきだと思う。そしてこの時こそ、同窓会が大きな、いい意味での強い存在となり、学校側にも堂々と意見をのべる事の出来る様な、そんなきっかけのチャンスにすればいいと思う。いろんなアイデアを出して、個人個人の寄付も勿論大事なのだが、喜びの中で寄付をしたいという気持ちがわきおこる、そんな寄付集めになる事を私は期待し、私はそのために出来るだけの力を出したいと思う。生意気かもしれないが是非、同窓会で大学基金の委員会も作って欲しいと願っている。

1987年度 会計報告 (1988年3月末日現在)

収 入	支 出
前年度繰越金 13,611,603	中庭先生、大庭照子さんパーティー費用 937,560
1987年度終身会費 1,500,000	演奏会後援費 60,000
中田先生、大庭照子さんパーティー会費 370,000	研修会費用(立本先生) 294,235
	サロンコンサート(4回分) サロンコンサート費用(4回分) 169,072
中田先生、大庭照子さん記念品代 292,970	名簿関係費 2,317,330
研修会寄代(立本先生) 31,500	演奏会後援費 60,000
サロンコンサート(4回分) 181,000	慶弔費 910
名簿代 1,000,000	中部支店関係補助金 50,000
フェリス・カナル代 1,000	西南支店関係補助金 50,000
横浜銀行利息 12,529	音楽科事務所へ 50,000
富士銀行利息 155,783	会費関係費 71,300
	会議費用 114,845
	事務用品、通信費 6,680
合計 17,156,385	合計 4,121,932
	次年度繰越金 13,034,453

—スコットランドでの演奏—

熊取谷寿子 (16回)

バグパイプの響き、あのドローンベースの持続する低音は、スコットランドの強さ、明るさをひびかせている。大庭照子さんからアパディーンで毎年夏開催される「世界青少年芸術祭」に、古楽器で参加しませんかとお願いを受け、フェリスのリコーダーグループが誕生。大竹尚之先生の音楽アンサンブルをとった人、ルネッサンスの楽器が吹ける人、それだけを頼りに六名が集まり、先生にもアパディーンをいただいて、楽器の調達、選曲、猛練習が始まりました。世界数十ヶ国から集まった六百人の参加者は、すべてアパディーン大学の寄宿舎にのびのびと生活を共にし、開幕のバレーに始まり十日間を、オーケストラ、コーラス、オペラ、バレエ、ダンスと、あちこちの劇場、ホールでその技を競うのです。アパディーンではすっかり人気者熊取谷寿子さんのサイガバレー、大庭さんの童謡グループと共に、私達もジェラルミンケースで運び込んだルネッサンス楽器で、ホルホーンやシャイトの曲、「祭り」「水曾節」「会津磐梯山」など日本民謡では、和太鼓も使って演奏しました。ステージの出入りは一秒だって遅やかに、姿勢、目せん、演奏中の姿を美しく、とプロフェッショナルな要求に、ショーとして人前で演奏する厳しさを各々が自覚したものでした。メイクも上手になったんですよ。開演前のロビーや日本庭園での演奏、最終日のスペシャル・ガラ・パフォーマンスでは、サイガバレーの「さくら」のオーケストラをつとめ、オペラハウス風な劇場に、もう酔いしれて……。思えば練習も、つらかった。もっとテクニックと、積み重ねがないと、四度のひびきも差音もあやしめない。キメ細かい練習をするはずだったのでは？と、リーダーとしては孤独で、どれほど自分の無力を思い知ったことか。でも、あの緊張した舞台裏の空気、香り高いスコッチの味、やっぱりやめられない。そう、終始一定したドローンベースのように、音楽の憧れをもち続けたいのです。リコーダーグループ「クマトリヤン」

石井 朝美(37回) 伊藤田祐子(37回) 清水 崇子(39回)
西山 享子(39回) 広沢 真紀(37回) 熊取谷寿子(16回)

お知らせ

34回卒の斎藤京子さんが日本音楽コンクールに入選なさいました。今後の御活躍を期待したいと思います。

中田喜直作品研究会の近況

城所恵子 (7回)

中田先生の作品研究を通して、日本歌曲の流れを探ろうと始めた中田喜直作品研究会も、この8月で1年になりました。中田先生の作品の4つのジャンル(歌曲・童謡・合唱曲・ピアノ曲)を年代で区切り、今昭和20年代の作品を研究しています。ベートーベンのピアノ曲やシューマンの歌曲なら解説書が多く出版されていますから、それを頼りにすることも出来ますが、学生時代に勉強した和声学の範疇を越える現代日本の作品研究には、広い知識と経験を要すると痛感していますが、作品の魅力の謎の糸口が見えてきた喜びは大きいです。研究方向も定まってきたところで、先生から作曲に当たってのお話を何うのも励みになると10月6日(木)午後には、副手や研究生による演奏もまじえて内輪の会を開くことになりました。昭和20年代は作品数が多いので、今回は歌曲と童謡のジャンルに絞りました。これからは、歌曲と童謡、合唱曲とピアノ曲というように、年2回の割で会を開きたいと願っています。勉強を続けておられる同窓生の皆さんの中で、先生の作品を演奏したい方は御連絡下さい。同窓生による先生の作品研究と発表の会というように輪を広げたいのです……。

～支部だより～

〈中部支部〉 会長 岡本博子 (15回)

短い夏でしたが八月後半の暑さは格別で、夜になって涼しい風がそよもしないには閉口しました。

皆様お変わりございませんか？

Fグループ中部支部、1988年は新しい役員でスタートしました。峯沢前支部長には中部支部発足以来しっかり足がためをして頂き、学校、マスコミ関係又楽器店等幅広くFグループ中部支部の名を広めて下さいました。新しい企画に挑戦しスタートと同時に自らスピーディにテキパキ動いて下さった大変頼もしい支部長でした。長年の御奮闘に感謝しています。

次に新役員を紹介いたします。

- ・支部長 岡本 博子 (15回)
- ・副支部長 服部 幸子 (20回)
- ・会計 滝川さち子 (21回)
- ・役員 水原 元子 (8回)
- ・ " 稲垣 笨子 (15回)
- ・ " 大庭千恵美 (25回)
- ・ " 鈴木久美子 (31回)
- ・ " 平松 聡子 (35回) 以上8名です

今年度の行事の紹介をいたします

3月29日 久保浩先生とライナーホフマン氏
ジョイントリサイタルの後援

4月3日 第6回ジュニアコンサート
布池文化センターセシリアホールで
49名の生徒参加

4月24日 Fグループ中部支部同窓会
(毎日国際サロン)
会食の前にミニコンサートを開きました。
声楽4名ピアノ2名、フルート1名の方々に演奏して頂き3人の先生方と一緒に楽しいひとときを過ごしました。

5月11日 大庭照子さんのリサイタルに中部支部役員の
水原元子さん賛助出演しました。

以上会計は前半に行事が多く大変でしたが中部支部の皆様御協力御無事終えることが出来ました。今後共宜しくお願いたします。

〈西南支部〉 牛島博子 (19回)

今年は、不順なお天気続きでございましたが、皆様方お変わりございませんでしたか。

西南支部は、目下、福岡近郊に約150名、その他の九州各地、山口方面に約100名、計250名余りの大世帯となっております。しかし、いずれも移動が激しく、お若い会員の方々が大半を占めておりますので、年一回、5月の第三日曜日と決めております同窓会への出席者も少なく、いつも幹事の方が苦勞されています。

さて、今年は、童謡、その他の分野で中広く、活躍なさっていらっしゃる、大庭照子(第10回卒)さんをお迎えして、楽しいひとときを過ごしました。大庭さんは、ご出身が熊本と、西南支部とはつながりも深く、色々感慨深いお話をうかがい、童謡も何曲か歌って頂き、皆、大変楽しく過ごしました。

その上、今回は、田中順先生もご出席下さり、現在の音楽科の様子や、今後の計画についての、興味深いお話を、沢山うかがうことが出来ました。

短い時間でしたが、来月5月の再会を約束して、なかなか中で、会を終えることが出来ました。

西南支部といたしましては、今のところ計画している事項はございませんが、会員相互間の親睦を深め、母校とも、何らかの形でつながりを保てたらと思っています。

会員相互の事務的な事は、日本楽器(福岡店)がお世話下さっていますので、住所変更、その他ございましたら、どうぞ、ご連絡下さい。

最後になりましたが、母校のますますの発展を祈っております。

名簿代まだの方、お払い込みくださいます様願いたします。

—今年度「Fグループ研修会」のお知らせ—

「飾り」の美学…… 大竹 尚之先生

音楽を通してみるルネッサンス・バロック時代。
ルネッサンス音楽、バロック音楽という音楽史的アプローチではない総合芸術論

ヤマハプラザショップ横浜 3階

10月18日(火) 11月8日(火) A.M.10:00~12:00

—Fグループ後援演奏会—

- '87 11月21日 阪東 和美(34回)
ピアノリサイタル 音楽の友ホール
- '88 5月31日 大庭 照子(10回)
童謡をうたう 神奈川県民ホール
- '88 8月9日 浜田ゆかり(35回)
サクソフォーン四重奏とピアノの夕べ
鎌倉中央公民館
- '88 11月8日(火) 野崎 智子(34回)
ピアノリサイタル 関内ホール・小ホール
- ソプラノリサイタル 江口 元子(4回)
- '88 10月21日 豊中市立アクア文化ホール
- 10月25日 カザルスホール

後援のお申込みは3ヶ月前までに下記にお願い致します。

安部 幸子

—Fグループ主催演奏会

出演者募集のお知らせ—

Fグループでは下記の要領で演奏会を予定しております。出演を希望なさる方は、申込み用紙をお送り致しますので御連絡ください。

- 演奏会子定日 1989年 6月ごろ
- 会場 神奈川県民小ホール子定
- 券の負担 1人100枚程度(1枚1800円)
- 人数 2~3人
- 申込み〆切 1988年11月20日
- 連絡先 上記の安部幸子まで

尚、出演者はFグループ会員で先生の推薦のある方に限ります。また希望者多数の場合は書類選考とさせていただきますので御承く下さいますようお願い申し上げます。

—「サロンコンサート」のお知らせ—

Fグループ主催で、卒業生の若い方々に演奏の場を持つていただけたら、という主旨のもとに行っています。

- 第3回 '88 1月21日
{ 藤谷 敦子 (32回) ピアノ連弾
安藤 江波 (32回) ピアノ
田部 美紀 (37回) }
- 第4回 '88 2月25日
長井 朋子 (33回) チェンバロ
吉岡久美子 (34回) フルーツ
- 第5回 '88 4月26日
須原 祐子 (33回) ピアノ
藤田 直子 (32回) メゾ・ソプラノ
- 第6回 '88 5月19日
石光 貴子 (37回) ピアノ
恩田 直子 (37回) ピアノ
- 第7回 '88 10月20日
小山さと美 (37回) ソプラノ
杉浦さゆり (32回) フルーツ
- 第8回 '88 11月17日 予定
伊藤田祐子 (37回) 作曲
永里 佳子 (37回) ソプラノ

ヤマハプラザショップ横浜 3階
P.M. 6:30~8:00 ¥1,000 (お茶つき)
TEL. 045-314-8251(伊)

計 報

音楽教育の佐野和彦先生、相田英理子さん(38回)、八木瑞絵さん(37回)が御逝去なさいました。心から御冥福をお祈りいたします。